

令和2年 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)実施状況

【令和2年12月末時点】

【用語について】

初回/非初回:過去3年度以内に、胃がん検診の胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査の検診受診歴がある場合は「非初回」、受診歴がない場合は「初回」に分類。

要精検者:検診時に生検を受診した者と検診時には生検を受診しなかったが、ダブルチェックで胃がんまたはその疑いと判定され要再検査となった者

精検受診者:検診時の生検結果の報告があった者、精検実施医療機関から再検査結果の報告があった者並びに再検査受診者から、受診日、実施機関、再検査方法及び再検査結果の報告があった者

【受診率の算出方法】

対象者数=国勢調査において報告された人数-(就業者数-農林水産従事者数)

※平成27年国勢調査をもとに算出

受診率={ (前年度の受診者数) + (当該年度の受診者数) - (前年度及び当該年度における2年連続受診者数) } ÷ (当該年度の対象者数) × 100

1 受診者数

令和2年(1~9月請求)の受診者数は446名で、うち約7割が初回受診者であった。年齢階級別みると70~74歳が最も多く、次いで65~69歳となっている。

表1-1 令和2年(1~9月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)実績

	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	合計
受診者数(人)		19	96	41	29	30	49	106	76	446
初回受診者数(人)		14	67	31	20	24	33	64	54	307
初回の割合(%)		73.7%	69.8%	75.6%	69.0%	80.0%	67.3%	60.4%	71.1%	68.8%

表1-2 令和2年(1~9月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)性別年齢階級別受診者数

年齢階級	受診者数(人)		
	男性	女性	合計
50~54歳	28	40	68
55~59歳	25	42	67
60~64歳	21	60	81
65~69歳	42	51	93
70~74歳	55	51	106
75~79歳	14	11	25
80歳以上	4	2	6
合計	189	257	446

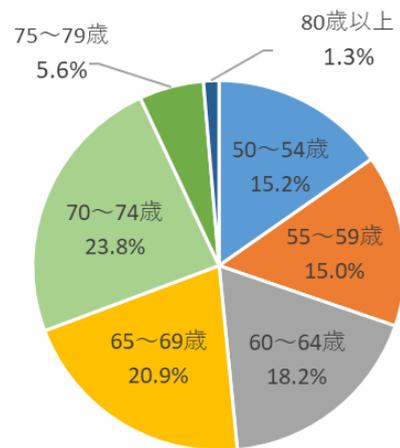


図1 令和2年(1~9月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)受診者における年齢階級別割合

2 生検

令和 2 年(1~9 月請求)受診者のうち、検診時に生検を受診した者は 53 名(生検率 11.9%)で、うち胃部の生検結果が Group2~5 であった者は、3 名であった。

表 2-1 令和 2 年(1~9 月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)生検実施数及び生検率

生検部位	実施数 (人)	生検率 (%)
胃部	44	9.9%
胃部以外	9	2.0%
合計	53	11.9%

表 2-2 令和 2 年(1~9 月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)生検実施者における生検結果内訳

生検部位	該当者数 (人)							合計
	Group1	Group2	Group3	Group4	Group5	X	その他	
胃部	40	0	0	1	2	0	1	44
胃部以外	2	0	0	0	0	2	5	9

3 読影判定

表 3 令和 2 年(1~9 月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)一次読影判定及び二次読影判定

		二次						合計
		A	B-1	B-2	B-3	C	D	
一 次	A	398	1	0	0	0	1	400
	B	9	0	32	0	0	0	41
	C	3	0	0	0	2	0	5
合計		410	1	32	0	2	1	446

- A 異常なし
- B 胃がんを疑う所見あり
- B-1 当日生検なし、胃がんを疑う所見あり
- B-2 当日生検あり、生検部位に胃がんを疑う所見あり
- B-3 当日生検あり、生検部位以外に胃がんを疑う所見あり
- C 胃がん以外の悪性疾患またはその疑い
- D 読影部位が不足しているため判定不能

4 要精検者

(1)内訳

令和2年(1~9月請求)の要精検率は12.1%、精検受診率は74.1%であった。精検受診者には、検診時に生検を受診した者で生検結果の報告があった者も含まれる。

精検(生検または再検査)結果の内訳としては、「胃ポリープ」や「胃びらん」と診断された者が多く、「胃がん」と診断された者は1名であった(他1名「胃がん」にて医療機関照会予定)。

表4 令和2年(1~9月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)要精検者内訳

		令和2年(1~9月請求)
受診者数(人)		446
要精検者数(人)		54
	生検実施	53
	要再検査	4
	生検未実施	1
要精検率		12.1%
精検受診者数(人)		40
	生検実施	40
	生検未実施	0
精検受診率		74.1%
精検結果内訳(人)	異常なし	1
	胃がん	※1
	胃がん疑い	0
	胃がん以外の疾患	38
	胃ポリープ	9
	胃・十二指腸潰瘍(癒痕含む)	8
	胃びらん	9
	胃炎	4
その他	8	
未受診/未把握者数(人)		14
	生検実施	13
	要再検査	1
	生検未実施	1
がん発見率		0.22%
陽性反応適中度		1.85%

参考) 胃エックス線検診の許容値

要精検率	11.0%以下
精検受診率	70%以上
がん発見率	0.11%以上
陽性反応適中度	1.0%以上

※他1名「胃がん」にて医療機関照会予定

(2)胃がんであったケースの詳細

令和2年(1~9月請求)受診者のうち、1名が「胃がん」と診断されている(他1名「胃がん」にて医療機関照会予定)。

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

5 検診実施医療機関別プロセス指標

表 5 令和 2 年(1～9 月請求)胃がん検診(胃内視鏡検査)実施医療機関別実施状況

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

6 総合判定 5 と判定されたケース

令和 2 年(1～9 月請求)受診者のうち、総合判定 5:胃がん以外の悪性疾患またはその疑いと判定された者は 3 名であった。うち、精検(再検査)受診者は 2 名で、結果は「異常なし」「胃以外の良性疾患(食道粘膜下腫瘍)」であった。